

山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
2017年8月2日 発行

平成29年第30週(7月24日~7月30日)

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第29週	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	941 0.19																11416
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	2239 0.71	16 0.53	15 0.50	▼	11 0.85	13 1.00	▲	5 1.67	1 0.33	▼					1 0.13	△	190
咽頭結膜熱	2229 0.71	39 1.30	28 0.93	▼	26 2.00	21 1.62	▼	1 0.33		▼	11 ◎1.83	6 ◎1.00	▼	1 0.13	1 0.13		512
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	5522 1.75	56 1.87	82 2.73	▲	26 2.00	48 3.69	▲		3 1.00	▲	24 ◎4.00	23 3.83	▼	6 0.75	8 1.00	▲	4877
感染性胃腸炎	11924 3.77	138 4.60	124 4.13	▼	54 4.15	44 3.38	▼	5 1.67	10 3.33	▲	38 6.33	27 4.50	▼	41 5.13	43 5.38	▲	4998
水痘	924 0.29	2 0.07	1 0.03	▼	1 0.08	1 0.08					1 0.17		▼				418
手足口病	28229 8.93	194 ◎6.47	360 ◎12.00	▲	135 ◎10.38	223 ◎17.15	▲	27 ◎9.00	25 ◎8.33	▼	12 2.00	65 ◎10.83	▲	20 2.50	47 ◎5.88	▲	922
伝染性紅斑	253 0.08	22 0.73	28 0.93	▲	1 0.08	4 0.31	▲	3 1.00	1 0.33	▼	18 ◎3.00	22 ◎3.67	▲		1 0.13	▲	409
突発性発しん	1542 0.49	14 0.47	17 0.57	▲	3 0.23	5 0.38	▲	2 0.67	3 1.00	▲	7 1.17	3 0.50	▼	2 0.25	6 0.75	▲	584
百日咳	35 0.01		1 0.03	▲		1 0.08	▲										14
ヘルパンギーナ	7036 2.23	75 2.50	108 3.60	▲	29 2.23	53 4.08	▲	4 1.33	1 0.33	▼	32 5.33	46 ◎7.67	▲	10 1.25	8 1.00	▼	284
流行性耳下腺炎	1384 0.44	17 0.57	7 0.23	▼	2 0.15	2 0.15			1 0.33	▲	9 1.50	4 0.67	▼	6 0.75		▼	458
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	14 0.02																
流行性角結膜炎	566 0.82		5 0.63	▲		5 1.25	▲										53
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	8 0.02																78
クラミジア肺炎	4 0.01																
マイコプラズマ肺炎	119 0.25	4 0.40	4 0.40		2 0.50		▼	1 1.00		▲				2 0.67	3 1.00	▲	115
細菌性髄膜炎	9 0.02																2
無菌性髄膜炎	13 0.03																7

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者				1	※第28週追加報告分。
腸管出血性大腸菌感染症	患者	1		1		型別:O157 VT2 1件、O145 VT2 1件。
	無症状病原体保有者		1	1		型別:O103 VT1 1件、O145 VT2 1件。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				1	※第28週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴無し。

<通信欄>

※トピックスで、手足口病と腸管出血性大腸菌感染症について掲載しております。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	5	7	2											15
咽頭結膜熱			3	3	8	3	9			1			1		28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	4	4	12	10	14	7	5	8	7	9	1		82
感染性胃腸炎		17	33	10	13	13	10	7	1	4	5	8	1	2	124
水痘				1											1
手足口病	4	37	148	81	40	16	18	7	3	2	1	3			360
伝染性紅斑			2	1	1	6	8	4	5	1					28
突発性発しん	1	7	7	2											17
百日咳													1		1
ヘルパンギーナ	3	6	30	22	20	3	13	5	4			1	1		108
流行性耳下腺炎			1		1				1	1	1	2			7

<平成29年6月 月報>

2017年7月19日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～6月	
	5月	6月	5月	6月	5月	6月	5月	6月	5月	6月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	18	20	3	6	10	12	3		2	2	106
	定点当り	1.80	2.00	0.75	1.50	10.00	12.00	1.50		0.67	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	10	5	2	2	2	1	5	1	1	1	42
	定点当り	1.00	0.50	0.50	0.50	2.00	1.00	2.50	0.50	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	2	2	1	2					1		7
	定点当り	0.20	0.20	0.25	0.50					0.33		
淋菌感染症	報告数	3	6	2	2			2		1	2	22
	定点当り	0.30	0.60	0.50	0.50			1.00		0.33	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	8	7	2		4	1	1	5	2		41
	定点当り	0.80	0.70	0.50		4.00	0.50	0.50	1.67	0.67		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	24	24	11	13	3		1	9	11		121
	定点当り	2.40	2.40	2.75	3.25	3.00		0.50	3.00	3.67		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1		1								2
	定点当り	0.10		0.25								

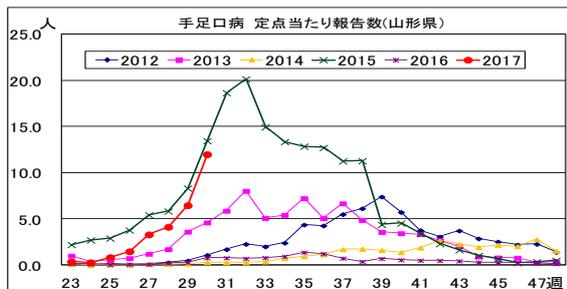
<トピックス>

【手足口病情報】

手足口病の定点あたり報告数が、県内4地区全てにおいて警報レベルとなりました。

- ・手足口病：警報開始基準値：5人 警報終息基準値：2人
- ・第30週 定点あたり報告数（山形県：12.0人）
- 村山地区 17.2人、最上地区 8.3人、置賜地区 10.8人、庄内地区 5.9人

1. ウイルス検出状況：山形県衛生研究所(7月28日現在)
2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が4件検出されています。
2. 流行期の定点あたり報告数の推移(山形県)



手足口病とは:

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。幼児を中心に夏季に流行が見られ、2歳以下が半数を占めます。
【症状】3～5日の潜伏期において、口腔粘膜、手掌、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が現れます。発熱は約1/3に見られませんが軽度であり、38℃以下のことがほとんどです。特別な治療法はなく、対症療法が行われます。口腔内の発疹が痛み、飲食しにくい場合がありますので、脱水症状に注意が必要です。
【予防法】手足口病は主に、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染、糞口感染で感染します。特に便中には長期にわたってウイルスが排泄されますので、手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することが大切です。

【腸管出血性大腸菌感染症情報】

第30週に、腸管出血性大腸菌感染症の患者が2名、無症状病原体保有者が2名、報告されています。夏季に多発する感染症ですので、食品を扱う際には、十分に手洗いするとともに、食品の温度管理と十分な加熱、調理器具の消毒を心がけましょう。

感染者の内訳（平成29年第1週からの合計）

- ①地区別
村山地区：12名
最上地区：1名
置賜地区：9名
庄内地区：3名
計 25名

②型別		報告数
O血清型	ペロ毒素型	
O26	VT1	9
O103	VT1	4
O115	VT2	1
O121	VT2	2
O145	VT2	2
O157	VT2	1
	VT1VT2	5
OUT	VT2	1
合計		25